

第2回東海市スポーツ推進会議記録			
開催日時	令和5年(2023年)10月11日(水)		午後2時00分 開会 午後3時45分 閉会
開催場所	東海市役所 501会議室(5階)		
出席委員	委員長 副委員長 委員 委員	吉田 文久 長澤 省吾 久野 耕佐 大城健太郎	委員 委員 委員 委員 委員 委員
欠席委員	委員	小島 利和	森山 慶郷 安藤 和明 飯田 佳洋 高谷 政昭 小島 久和
委員以外の出席者	なし		
公開、非公開の別	公開		
傍聴者	1人		
職務のため出席した事務局職員	教育委員会次長 兼スポーツ課長 スポーツ課統括主任 スポーツ課主任 スポーツ課主事	鈴木 俊毅 土田 将康 藤谷 宗仙 千葉 廣	
記録作成者職・氏名	スポーツ課主任 藤谷 宗仙		

(午後2時 開会)

1 報告事項

今年度の進捗状況について

事務局から資料に基づき説明を行いました。

(森山委員)

刈谷市にて障がい者の卓球大会が実施され約50名参加して交流を深めました。また、障がい者のふれあいスポーツ大会については、毎年10月に開催しておりますが、市民体育館の改修工事に伴い、今年度は令和6年2月に開催を予定しております。

(委員長)

ボランティアの体制は整っていましたか。

(森山委員)

刈谷市のボランティアの方々に御協力いただきました。

(委員長)

当大学の学生たちが中級の障がい者スポーツ指導員の資格を取る上で、愛知県でいろんなところにボランティアで協力しておりますので、もし人手が足りない場合がありますら2月の大会にお呼びかけください。

(高谷委員)

市民ミニテニス大会を、市民モルック大会に変更をお願いします。ニュースポーツとしてミニテニスを推進しておりましたが、スポーツクラブ東海の競技部としてミニテニス運営委員会が立ち上がり、独立しました。これからは新種目としてモルックを推進していきます。

(事務局)

資料を修正します。

(安藤委員)

スポーツ出前授業について、今年度も実施させていただきまして大変好評をいただきました。

(飯田委員)

スポーツ出前授業について、いろいろなスポーツに触れ合う機会を作っていただけるのは小学生にとっていい経験ができていると感じています。例えば、体力テストや運動会前に授業を行えると子どもたちがより前のめりに取り組むかもしれません。ただし、今後は教科担任制の普及に伴い、スポーツ出前授業を実施できるように模索していく必要があります。

(委員長)

地元企業団体のスポーツの力を借りて子どもたちに刺激を与えられるのはいい機会ですので、継続できるようにお願いします。

(久野委員)

山崎武杯を11月5日と11日の2日間で市内8チームが参加し開催する予定です。また、スポーツ少年団活動支援として12月17日にスポーツ少年団交流大会として駅伝等を実施する予定です。

(副委員長)

10月14日と15日で星城大学祭にてスポーツ体験会を行う予定です。他にも来場者が楽しめるように準備をしているため、関係各所でも宣伝していただく機会がございましたらよろしくお願ひいたします。

(委員長)

今のようにあげていただいた企画を市の広報に掲載することはできますか。

(事務局)

市が主催または共催、協賛という立場であれば広報に掲載することができますので、その立ち位置になれば広報に掲載できる可能性はあります。

(委員長)

推進事業として取組んでおりますので、市の広報等でPRができると思います。

(事務局)

資料に記載はございませんが、施策1 スポーツライフの推進について、10月9日のスポーツの日に合わせて市民体育館のトレーニング室（午後2時から午後5時まで）と市営温水プール（1日）無料開放しました。市民体育館は、14名が利用し、市営温水プールは112名が利用しました。

施策3 スポーツによる交流の推進について、姉妹都市スポーツ交流事業のところになります。9月16日から16日に姉妹都市であります岩手県釜石市とラグビーを通じた交流を実施しました。ラグビースクール生16名を含む総勢29名を派遣し、スポーツのみならず、東日本大震災当時の様子を学ぶいのちを繋ぐ未来館などで子どもたちにとって貴重な体験ができたと感じております。

また、令和8年(2026年)アジア大会のカバディの競技会場として東海市民体育館が仮決定しました。アジア大会は9月19日から10月4日までの16日間で開催されます。これから市民の皆様にかバディを伝えていくところから、始まると考えております。各団体の皆様にも協力をお願いすることがあるかもしれませんのでその際はどうぞよろしくお願いいたします。

施策4 スポーツに親しむ場の整備の1 スポーツ施設の整備 (1) スポーツ施設の在り方の検討について、ふたつ報告します。

ひとつめは、市営温水プールの廃止に関しまして9月議会にて市営温水プールの廃止について議決を得ました。廃止理由は、市営温水プールは、設立から42年経過をしております。施設の老朽化によって、更新に向けて多大な費用がかかるということと、市内に民間事業者による屋内プールが増えてまいりまして、3ヶ所運営されていることや次年度から知多市との共同でプールを含む健康増進施設が新たに設置されるということなどを総合的に勘案したことによります。

ふたつめは、皆様に配布させていただいた最後の資料にあります市内スポーツ施設活用調査についてです。今年度、市内のスポーツ施設の現況、スポーツに対する市場調査をしまして、民間施設との連携の方向性や、候補地における整備方向性などを検討するために、株式会社創建と委託契約を結び市内スポーツ施設活用調査事業を実施しております。

(久野委員)

星城大学硬式野球部から加木屋コミュニティに野球を通じた体験会または交流について実施できないかと相談を受けており、打合せを行い調整しております。

(委員長)

美浜町のキャンパスでは中学校に学生ボランティアという形で中学校部活の生徒と一緒に活動するようなことをやっておりました。学生たちには良い学びの場になりますので、今のおっしゃったように、そういう連携で子どもたちとの関係性ができ

るいいなと思います。さらに、そこから発展しこの資料の中に形となっていくとい
いなと思いました。他にはございますでしょうか。

(森山委員)

施策1 スポーツライフの推進1 生涯スポーツ活動の充実の取組方向性の1から4
があるがここに障がい者スポーツ機会の充実を追加してはどうでしょうか。

(事務局)

計画策定時に1から4の柱として取組の方向性をまとめており、障がい者のスポ
ーツ機会の充実は、施策1 スポーツライフの推進に含んで整理をしております。

(委員長)

第1期計画では含めた形での整理をしております。機運を向上し、第2期計画で
はそれが柱立る可能性はありますので、盛り上げていっていただきたいです。

カバディに関して東海市で担っていただける団体等がありますか。

(事務局)

当市で現在カバディを担っていただける団体はございません。市民の方々にカバ
ディを知っていただくことから始まり、機運の上昇を進めていくこととなります。
各団体の方々にも協力していただき、盛り上げていきたいと考えております。

(副委員長)

以前東海市にカバディがやってくるということでいち早く動き、日本カバディ協
会に協力をしていただき学生たちがカバディを体験する機会を設けました。そこか
ら毎年授業で体験をしていたが、コロナになり対面授業でできなくなりましたので
活動に関して確認して協力できることがありましたら連携させていただきます。

(委員長)

組織があるとすごく動きやすいかと思いましたが。これから準備していくとい
うことなので、関係の皆さんのところにご協力いただくことになるかと思いますが、ぜ
ひ協力して東海市でカバディを盛り上げていただければと思います。

次の議題に参ります。

2 協議事項

(1) スポーツ推進計画の推進について

ア 重点プロジェクト

1 都市公園スポーツ交流拠点プロジェクトについて

事務局から資料に基づき説明を行いました。

(委員長)

10月8日スポーツ体験会を見させていただきました。高齢者の方が多く子供は少なかった印象です。体験会以外の場所で、キャッチボールやほかのスポーツをしている方がいらっしゃったので、体験会がまだ浸透していないイメージでした。また、体験会で音楽を流したり、キッチンカーを呼んだりと楽しめるような環境を整えるのもありかなと感じました。ランニングしている方が多くいたので、そういった方も体験会に取り組めるようにするといいです。

プールの廃止もあるなかで皆さんから貸出用具や企画連携についてアイデア、ご意見等があれば、お出しいただければありがたいのですが、いかがでしょうか。

(高谷委員)

スポーツ体験会について、10月8日は市民運動会の日になりますので、人を集めたり、継続的に実施するのであれば日にちを変更したほうがいいかもしれません。

(事務局)

施設管理協会が主催となり、コパンに協力いただきながらスポーツの日に合わせて実施しました。広報でも周知しておりましたが、PR不足であることも感じました。

(高谷委員)

別日を選んだ方がまだ人が来る可能性が高いため検討する余地はあると感じます。

(事務局)

日にちに関しまして検討します。

(高谷委員)

どのように貸出用具のPRをしていますか。

(事務局)

大池公園に貼り紙をしてアナウンスとスポーツ課のホームページで周知しております。

(事務局)

本日欠席いただきました小島委員から活用促進について、こども会や町内会に向

けての講習を実施してそこから普及していただくようにご協力いただいたらどうかと意見をいただきました。

(委員長)

カバディも同様な形で普及させていく必要があるかもしれません。

(久野委員)

加木屋緑地において愛知駅伝の練習記録会として使用していただきました。緑地の利用に関しても多くの人に利用していただきたいです。

(委員長)

コミュニティに関してはどうでしょうか。

(大城委員)

三ツ池コミュニティでは、三ツ池公園にてモルック大会を継続的に行っております。誰でもできるということもあり、幅広い年齢層の方に参加していただき交流できる場としても活用することができるため今後も続けていきたいです。

(委員長)

加木屋や三ツ池のようにコミュニティごとの活動とそれを束ねる全体としての組織でつながって連動していけるといいです。

(事務局)

スポーツ推進委員がその役目を担っていただいております。三ツ池コミュニティにおいてもスポーツ推進委員がモルックを普及しております。各地域での活動に対して、10月29日には全体向けの市民モルック大会を予定しております。

(副委員長)

資料2貸出用具のドッジビーではなくドッチビーではないでしょうか。

(事務局)

ドッチビーに修正します。

(副委員長)

長距離練習会について、愛知駅伝に出場するためのみならず、広い意味での内容にして参加者を増やすようにしてもいいかもしれません。また、貸出用具に関して、使用を促進するためにこども会とかへの貸出も検討し、そこから大池公園に行けば使用できるというように繋げられるといいです。

(飯田委員)

体験する機会に関して、例えば放課後児童クラブなどで1年生から3年生までは結構な割合のこどもたちがいるのでそこをうまく活用するのがいいかもしれません。雨が降った場合でも室内でモルックをすることができます。

(委員長)

次の議題に参ります。

2 学校のスポーツふれあい広場プロジェクトについて

事務局から資料に基づき説明を行いました。

(委員長)

先行的な取り組みとして、渡内小学校と富木島小学校の二つでモデル的にやっくいこうという案でございます。見守る人の配置に関してはスポーツ推進委員の方にご協力いただいて、それ以降については指導者バンクからの派遣ということで、ひとまずこのモデルケースについてはスポーツ推進委員の方々にご協力いただいてという案になっております。

(高谷委員)

お話しをお伺いしまして、委員にも説明しご協力していただけるように進めております。

(飯田委員)

指導者バンクからの派遣について、指導者が不足している場合そこから見守りに人を出すことに不安があります。また、どちらの小学校も駐車場に限りがあり、車が停められません。徒歩、自転車である分は差し支えないですが、放課後児童クラブのお迎えの時間と重なったりしないように注意する必要があります。

(事務局)

モデルケースとして実施する案であるため、見守りの人についてボランティア団体に依頼する方法もあります。今後学校のグラウンドで遊ぶエリアと教室が行われるエリアで分けてもいいのかなと思います。最初の成り立ちとしては、小学校の部活動がなくなり、こどもたちが運動できる場を作るところから始まっていると思いますので、将来的には指導者バンクの人がスポーツ教室を実施するというのに繋がっていけばいいのかもしれません。

(委員長)

いろいろな課題が出てくると思いますが、ひとまずこの案で来年の4月からスタートし、サポートとしてはスポーツ推進委員さんに御協力をいただきながらモデルケースとして進めていっていただきたいです。

(久野委員)

こども教室は、体験会で終わってしまうケースが多いと感じているため、種目を絞るよりも体力の向上に向けた取り組みにしてもいいのではないかと感じています。

(事務局)

皆様から意見頂きましたので今後教育委員会にて話し合い、小学校と調整をしながら実施に向けて取り組んでいきます。また、決まり次第報告します

(委員長)

次の議題に参ります。

3 スポーツ指導者プロジェクトについて

事務局から資料に基づき説明を行いました。

(事務局)

スケジュールを確認していただくと、来年度も1回は協議ができるとは考えております。皆さんの共通認識を持っておくために少し細かいですが案として出させていただきました。

(委員長)

登録した指導者の適任の判断は、教育委員会が行う予定ですか。

(事務局)

そう考えております。

(委員長)

任命責任者が教育委員会になるということになります。指導者バンクは、地域移行した学校の部活動の指導者のみならず、東海市内すべてのスポーツの指導者に関わるものとなります。登録指導者の資格に関して、設置要綱に記載している資格を持っていない場合は、スポーツクラブ東海の認定指導者の資格を得てもらう形にな

りますか。

(事務局)

スポーツクラブ東海の認定指導者の資格を得てもらい、指導者バンクへ登録という流れができたらいと考えています。

(副委員長)

資料の事務の流れには、「認定」という言葉が入っており、見た目のフィルターも気にかけて方がいたため、設置要綱にも「認定」という言葉を追加した方がいのではないのでしょうか。「認定」という言葉を入れることで少し安心感が持てるようにも感じます。または、推薦者から紹介されて認定されるというのもひとつの選択肢としてありなのではないのでしょうか。

(久野委員)

令和7年9月から中学校部活動の土日を地域に移行することがきっかけになるため、間口を広めすぎず、そこに絞って進めていったほうがいのではないのでしょうか。

(事務局)

まずは、中学校部活動の土日を地域に移行することに重きを置いているが指導者バンクとしては、将来を見越して広く派遣できるようにと考えております。また、指導者バンクは指導者の育成も含んでおり、指導者のレベルの底上げも図っていければいいと考えています。

(委員長)

飯田委員はいかがでしょうか。

(飯田委員)

中学校部活動が地域移行します。それに対しての受け皿を行政が作らなければなりません。整理をするうえで、バンクに登録した人を見た上で、なにが受け皿としてできるか、今も既存でジュニアクラブがあり、それを地域クラブチームに移行していこうとするために制度設計するのか、どう順序立ててやるのかが見えてこない気がします。ゆくゆくは、平日の中学校部活動も地域移行することも念頭に入れて動く必要があるため、東海市は地域クラブチームを立ち上げるくらいの方針で進めていく必要があるかもしれません。ただ移行期間に関しては、教員を頼りにしてしまうと思うが、そこに頼りきってしまうのはいかななものかなというのが、学校

としてはあります。

(事務局)

スポーツクラブ東海さんのジュニアクラブが、競技部で10種目くらい作られているのを地域クラブ活動というふうに位置づけて、そのクラブ活動がやる中で、指導者が足りないということであればスポーツ指導者バンクに要請が来るという流れを考えております。指導者バンクで人を集めて地域クラブをつくるというのではなく、必要なところに指導者を派遣するバンクであると考えておりますが、まだ教育委員会として決まっているわけではありません。

(飯田委員)

既存する6中学校にある部活動がそっくりそのまま地域で面倒をみれるようになるのが、理想と思っています。ただそれには当然、指導者や時間、物理的な部分も含めて、いろいろな課題があるので、難しいのかなと思いますが、よりそれに近い形で対応できるような指導者バンクであってほしいと考えています。どうしても教職員に頼りたいという気持ちもわからなくもないですが、教員は、東海市外在住者もあり、自分の地元で指導したいという意見も聞いたことがあります。東海市の指導者バンクに登録していただき、東海市のこどもたちのために力を貸してくださる方をどれだけ発掘できるのかにもよると思います。仕組みを作るだけではなく、指導してみたくなるような働きかけもしていかなければ、なかなか人は集まってこないと思います。

(委員長)

飯田委員からは先生の立場も含めて、どう対応していくのかという課題をご指摘いただいたと思うのですが、森山委員いかがでしょうか。

(森山委員)

障がい者の立場からいいますと、資料の登録申請書案の中にC指導対象にも障がい者というのがないが、障がい者にもいろんな方がいますので、そこにも配慮していただきたいです。障がい者の指導者が、少ないのもあるためその確保も視野にいれる必要があります。

(委員長)

スポーツクラブ東海にある程度引き渡していくというのを中心に考えたらいいと思いますが、やはり市としても、指導者を養成していくという仕組みが必要であり

ます。今の指導者をピックアップするというのと、気持ちがある方を養成して指導者へ向かっていくような仕組みを作っていくのがいいかもしれません。また、障がい者の初級の指導員でしたらハードルは高くないので、興味をある方が講習を受けて実習し資格取って指導するようなそういう場を作ってどんどん養成していく必要があります。

学校の先生が見かねて結果的に頼ってしまっていては、支えられているというのとは趣旨が異なります。

学校部活動の地域移行だけではなく、地域も踏まえて、こどもから高齢者までのスポーツ振興が課題ですので、そこも含めた上で教育委員会との関係も含めて整理されていくことも必要かもしれない。次回までにもう1回議論する期間があるということですので、それまでに説明をしていただいて、そこを切り口として、皆さんの立場から議論できればと思います。

もし、ご意見等ありましたら事務局の方にお寄せいただいて、そこでまた集約していただいて、来年度の会議で進めていけばスムーズに進行するのかなと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、第2回の推進会議を終わらせていただきます。ありがとうございました

(午後3時45分 閉会)